

**製品名: Siglec-5/14 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab17897**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	60kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SIGLEC5/SIGLEC14
別名	SIGLEC5; CD33L2; OBBP2; Sialic acid-binding Ig-like lectin 5; Siglec-5; CD33 antigen-like 2; Obesity-binding protein 2; OB-BP2; OB-binding protein 2; CD170; SIGLEC14; Sialic acid-binding Ig-like lectin 14; Siglec-14
遺伝子 ID	8778.0
SwissProt ID	O15389
免疫原	シアル酸結合性 Ig 様レクチン 5/シアル酸結合性 Ig 様レクチン 14 由来の合成ペプチド（アミノ酸範囲: 91-140）

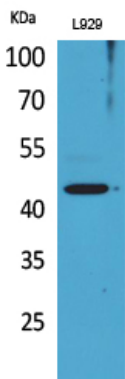
## 背景

この遺伝子は、シアリン酸結合免疫グロブリン様レクチン (Siglec) ファミリーのメンバーをコードしています。これらの細胞表面レクチンは、免疫グロブリン (Ig) 様ドメインの構造モチーフと、最初の Ig V セットドメインのシアリン酸認識部位を特徴としています。コードされているタンパク質は、CD33 関連 Siglec サブセットのメンバーであり、単球、マクロファージ、好中球など、いくつかの種類の細胞の活性化を阻害します。コードされているタンパク質への B 群連鎖球菌 (GBS) の結合は、GBS の免疫回避に関与しています。[RefSeq 提供、2012 年 2 月]、ドメイン: 免疫受容体チロシン阻害因子モチーフ (ITIM) と呼ばれる細胞質モチーフを 1 コピー含みます。このモチーフは、細胞応答の調節に関与しています。リン酸化 ITIM モチーフは、いくつかの SH2 含有ホスファターゼの SH2 ドメインに結合できます。機能: 細胞へのシアリン酸依存性結合を媒介する推定上の接着分子。α-2,3 結合型シアリン酸と α-2,6 結合型シアリン酸に等しく結合します。シアリン酸認識部位は、同じ細胞表面上のシアリン酸とのシス相互作用によってマスクされている可能性があります。オンライン情報: Siglec-5,類似性: 免疫グロブリンスーパーファミリーに属します。SIGLEC (シアリン酸結合 Ig 様レクチン) ファミリー。類似性: Ig 様 V 型 (免疫グロブリン様) ドメインを 1 つ含みます。類似性: Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを 2 つ含みます。組織特異性: 単球系/骨髄系細胞で発現します。末梢血白血球、脾臓、骨髄に高濃度で存在し、リンパ節、肺、虫垂、胎盤、膵臓、胸腺には低濃度で存在する。単球および好中球に発現するが、骨髄単球性分化の初期段階を示す白血病細胞株には存在しない。

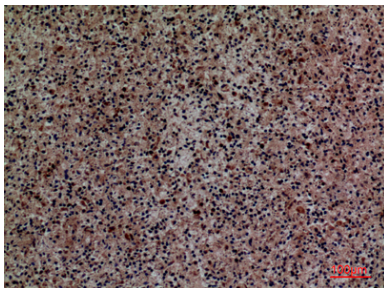
## 研究分野

-

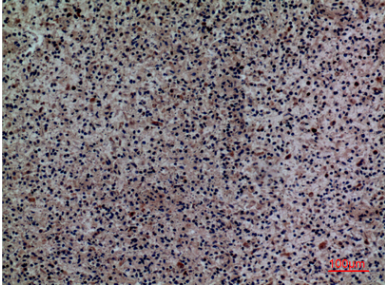
## 画像データ



Siglec-5/14 ポリクローナル抗体を用いた L929 細胞のウェスタンブロット解析。抗体は 1:1000 に希釈した。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



パラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された